

## 第3回島田市の花・木・鳥制定委員会 要約会議録

- 1 開催日時 平成26年5月23日（金）午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 島田市役所 第3委員会室北
- 3 出席者  
委 員 鈴木善彦委員長、菅功副委員長、天野成子委員、伊藤健太郎委員  
大石進哉委員、鈴木安夫委員、鈴木りゑ委員、杉村敏雄委員  
藪崎公士委員、横山富枝委員  
島田市 牛尾企画部長、佐藤秘書課長、松田係長

### 4 内 容

#### 第3回 島田市の花・木・鳥制定委員会

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（交代した新委員の3名）
- 3 委員自己紹介
- 4 議事  
島田市の花・木・鳥制定委員会の立ち上げ理由から  
候補案選定までの流れ等について  
木の候補について
- 5 その他
- 6 閉会

### 5 会議の経過の概要

#### （1）委嘱状交付

自治会長連合会役員が変更となったことから自治会長連合会推薦の委員3名に対し企画部長から委嘱状を交付した。

#### （2）委員自己紹介

委員が変更になったため、委員全員、改めて自己紹介を行った。

#### （3）議事

島田市の花・木・鳥制定委員会の立ち上げ理由から候補案選定までの流れ等について

事務局から改めて説明を行った。

## 木の候補について

配布された資料を参考に、各委員から意見を出していった。

### <主な意見等>

(委員)

- 島田市にはこれだという特徴のある木は少ない。
- 川根の奥に落葉樹でいうとコナラ、ヤマザクラが見られる。
- 島田市も大半が林や森であるが、シイの木は花を咲かせた時は華やかであるが、花が散ったら緑の山といった印象になる。
- 初倉、金谷、川根と大井川を中心とした川の流れの中にはヤナギも目立つ。
- ヤナギは寿命が短いため、選ぶに値するかどうかという気持ちもある。産業に結びつく他地域に誇れるような木を選ぶのが良いと思う。
- 旧本川根町はヒノキ、旧中川根町はスギからブナであったが、合併の際、制定し直し、川根本町として花はシロヤシオ、木はブナ、鳥はヤマセミを選定、決定した。シンボルとしていい木を選んだなと思う。
- 市内は巨木としてはスギが神社などに多くあり、智満寺の十本スギなども3本倒れ7本となっているが国の天然記念物でもある。川根地域にもクスノキも立派なものもあるが、国、県の天然記念物はない。市の天然記念物である。
- 前回も意見に出たが、木には花も咲くが、木としての候補に挙げて議論していきたい。植生的に多いという選び方もありだろうし、歴史的に見て天然記念物もありだろうし、産業的な木もいいのではないか。
- 島田市に今ある木を象徴にしていくという考えもあるが、これから新しい木を象徴にして選んでいくという考え方もあるのではないか。
- 象徴として存在している木とすればドウダンツツジがいいと思う。ドウダン原に行けば、ドウダンツツジは葉も優しい。花も綺麗、紅葉も素晴らしい。小学校時代に興味の無かった自分でも、素晴らしいと感じた木である。知名度も広めていけると思う。
- ドウダンツツジは相賀地区から入っていくと「ペンションどうだん」の斜面に植えられている。特に紅葉の時期は素晴らしく、観光客などは記事が出ると大勢見に行く。
- 一般の人が庭に木を植えなくなってきた時代で、常緑低木のベニバナトキワマンサクが鮮やかである。島田市などは生垣の補助金制度もあるし、洋風の家も増えていくなかで和風にも合い、垣根に使える木であり、人気である。
- 島田市の木ということになれば、広がっていくと思う。そういった意味で、新たな庭の垣根に使える木ということでトキワマンサクを提案したい。知り合いに意見を求めたら、ハナミズキを提案したいと言っていた。
- トキワマンサクは細い針のような花で、エンジの濃いものや薄いものなど多くの人が生垣に使っている。虫もつかない、病気にも強い、刈り込みの容易さなどが特徴である。

- 紅葉が素晴らしいとして選ぶということもあるだろうし、一時期でもきれいな花を咲かすということで選ぶということも考えられる。
- 島田、金谷、川根全地域の産業のシンボルで、数で言えば一番多い茶の木を挙げたい。
- 合併後の制定であること、皆が興味を持つ自分のところで馴染みがあるということで、茶というのもいいかなと思う。
- 木都「島田」としては産業であったことからスギを選んでも良い。  
昔、父に連れられて山へ入り、スギとヒノキの幹の直径を測りスギが太くなるのを毎年見てきた。今、山が荒れているのが残念。外材が入ってきて苦戦しているが、日本古来からあるスギ、ヒノキ、それらが家の材になってきたかと思うと、スギ、ヒノキに思い入れがある。
- 私個人はサクラ。川根にも桜トンネルがあるが、花見といえばサクラ。同じ条件で見れば、親しみが有り、川根の奥に行けばヤマザクラもある。
- 産地として産業となる木で茶が良い。手入れが追いつかなくて雑木林のようになるのは切ない。
- サクラはどこにもあるが、島田独特という意味でドウダンツツジが春も秋も素晴らしいと思う。
- ハナミズキはアメリカ産であり、原種はヤマボウシである。戦争中は敵国産として切ってしまった時代背景もある。
- 島田にあるハナミズキ通りは新しい道が出来るとき、街路樹で何を植えようかということで、市民の意見を聞いて植えた経緯がある。
- 花のところでも出たサクラ、お茶であるが、たしかにお茶の花は綺麗であるが、お茶を花として見る事はないのではないか。木で良いのではないか。
- 花も木も候補に両方入れるという意見もあるでしょうが、桜トンネルもやはり、野守の池に向かう桜並木が綺麗。サクラは木というより花ではないか。
- 大津の野田の天徳寺のところ、サザンカトンネルもある。サザンカも良い。
- 山が衰退してきているが、産業を考えるとスギとお茶かなと思う。
- スギとヒノキというと、ヒノキの方が値打ちがあるというイメージが強い。  
ヒノキも外材に押されているのが実情。大井川筋のスギは芯が赤くて材質が良く、他所に比べ高く買ってくれることが多い。
- 大草のところのシダレザクラがある。虫もたくさん付いて、農家にとっては、困惑しているのが実情。
- スギはスギ花粉もありスギで困っている人もいてイメージも大事。市民に訴えるものとして候補を考えていきたい。

#### <まとめ>

木の候補は、今回は挙げたものの中から、絞っていく回もあるため、現段階では特に絞らない。次回以降も他に候補として挙げたいものがあれば、意見を言っていただくこととした。

今回、挙げてもらったものは「ドウダンツツジ」「トキワマンサク」「お茶の木」「桜の木」「スギ」その中で「ドウダンツツジ」「茶の木」が多くの委員から支持があった。

選ぶ基準として①市にあるもので、植生的に多い木が良い

②巨木（シンボルの木）などイメージしやすいもの

③市民に好まれ、住居の生垣などで使用されているもの

④産業界に結びつく木で、活性化につながるもの

などが委員の意見から挙げられた。

#### （４）その他

次回は、７月に開催を予定したい。日時を事務局にて調整し、通知は後日、委員の皆さまに改めて送付する。

議題は主に「鳥」について検討する。委員の皆さまには、静岡県他市などの鳥の資料を配布するので自分なりに市の鳥について考えてきていただくこととした。